

## 重要文化財天神原遺跡出土土器保存修理業務委託報告書

委託者 檜葉町長 松本幸英

受託者 株式会社 芸匠

修理期間 令和4年5月16日～令和5年2月6日

資料名 天神原遺跡出土土器

- ① 震災で破損した土器（15号土器棺下部）
- ② 2号土器棺 1組
- ③ 8号土器棺 1組
- ④ 12号土器棺 1組
- ⑤ 18号土器棺 1組

修理作業内容

- ① 各資料、搬入時の写真撮影を行う。
- ② 各資料を発砲スチロールの土台からのこぎり、電熱線等を使用し取り外した。各資料はシリコンを使用し固定されており、接着面はシリコンのオイル成分による染みが覆う状態である。オイル染みはアセトン、シンナー、エタノールを使用し除去を試みるがほとんど残る状況である。土器面に付着したシリコンは、シンナーを使用しできる限り除去した。
- ③ 2号土器棺1組と12号土器棺下部及び18号土器棺下部は純水を使用し筆、刷毛等を用いてクリーニングを行う。
- ④ 各資料土台から外した修理前（クリーニング後）の写真撮影を行う。
- ⑤ 8号土器棺1組、12号土器棺上部及び18号土器上部は接合、復元部をアセトン、リユーター、デザインカッター、純水等を使用し解体、クリーニングを行う。解体した各資料は写真撮影を行う。
- ⑥ 解体した各資料は、パラロイド B72（溶剤アセトン）及びハイスーパー（エポキシ樹脂）を使用し接合を行う。

- ⑦ 接合した各資料は、接合部及び欠損部をアラルダイト 6504（エポキシ樹脂）を使用し充填、復元（文様含む）を行う。
- ⑧ 15号土器下部の口縁部は3点ある破片をパラロイド B72 で接合し、欠損部をアラルダイト 6504 を使用し充填及び復元（文様含む）を行う。
- ⑨ 各資料の復元後写真撮影を行う。
- ⑩ 復元後の各資料はアクリル顔料を使用し、表面は違和感がないように色調を合せ、内面は接合部及び復元部が実物と区別できるように彩色を行う。
- ⑪ 各資料の修理後の写真撮影を行う。
- ⑫ ※12号土器棺下部内部に、同固体とみられる土器の部位が固定されていた。

搬入時



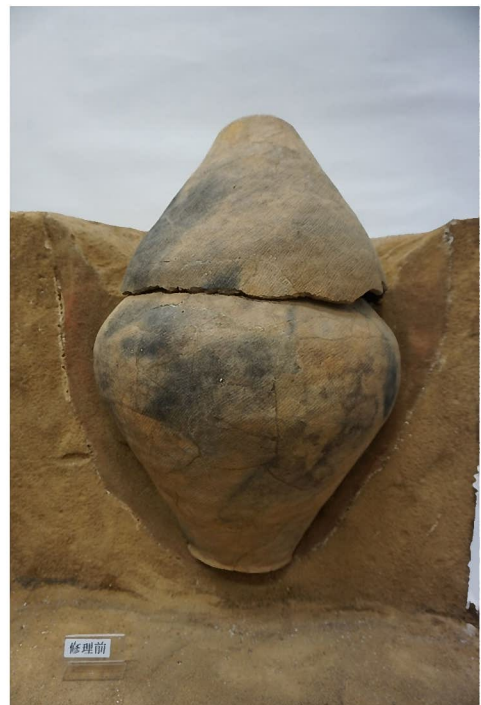
搬入時現状 2 号



搬入時現状 8 号



搬入時現状 12 号



搬入時現状 18 号

取り外しクリーニング後



2号土器棺



8号土器棺



12号土器棺



18号土器棺

8号上



修理前



解体・クリーニング後



復元



修理後

8号下



修理前



解体・クリーニング後



復元



修理後

12号上



修理前



解体・クリーニング後



復元



修理後

18号上



修理前



解体・クリーニング後



復元



修理後



15号口縁



修理前



クリーニング後



復元



修理後